

稲沢市社協ボランティア・市民活動だより

NO.14

2010.12.1

あいあい

(愛・会・合・相)



ボランティア活動紹介

私たちが
「あいあい」を作成しています。
編集ボランティア

「あいあい」情報

創刊 / 2007年9月

発行月 / 6月、9月、12月、3月

発行部数 / 48,000部

編集ボランティア数 / 14名

「あいあい」は、ボランティア・市民活動の啓発・普及などを目的として、編集ボランティアが作成し、稲沢市の全世帯に配付しています。

具体的に、編集ボランティアって何をするの？

それぞれの出来ることが、情報誌づくりに活かされることを基本にして、作成しています。

- 市内で開催されるボランティアに関する催しに興味がある⇒取材・記事作成
- 絵を描くことが得意⇒イラスト作成
- 写真撮影が好き⇒カメラマン
- 映画や読書が好き⇒福祉やボランティアに関する映画の紹介記事を作成
- ボランティア団体に興味がある⇒代表者インタビュー取材や記事作成 など

それぞれの「伝えたいこと」が、多くの人にとって「知りたいこと」だったら、素晴らしい情報誌が出来上がるのだと思います。

(イラスト 夫馬)

発行 社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会ボランティアセンター

〒492-8218 稲沢市西町三丁目10番24号 社会福祉会館内 TEL (0587) 23-6713 FAX (0587) 33-4666

E-mail volo-info@inazawa-shakyo.or.jp ホームページで読める!! 「あいあい」 <http://www.inazawa-shakyo.or.jp>

稲沢市社会福祉協議会

検索

この稲沢市社協ボランティア・市民活動だより「あいあい」は、市内在住・在勤・在学の編集ボランティアが作成し、社協会員会費により発行しています。

ボランティア紹介

気らくに楽しむぬり絵 色とこころの セルフセラピー



みなさんは、「自分の気持ちが色にでる」体験をしたことがありますか？

今回は、カラスペース アトリエコスモスの活動を実際体験してその活動を報告します。

アロマポットオイルの香りが漂う空間で、2種類のハーブティーを用意してくださった田島さん。



澄みきったブルーと軽やかなレッドのハーブティーをいただきながら、目の前に広がるさまざまな色えんぴつやクレヨンを見つめると、こんなにもたくさんの色があることに驚き、

うっとりしました。一枚のぬり絵から、今日の「わたし色」を発見し、色とこころの関係をぬり絵を通して表現する面白さに気づきました。「ぬり絵をする時は、自分自身との対話の時間ですよ」と穏やかな表情で語られた田島さんの言葉通り、自分のこころの反映を楽しむことができました。

(編集委員 塚本)

団体情報

- 設立年月日 平成19年11月14日
- 会員数 4名
- 活動内容 ぬり絵と自由画を通して、心とからだを元気にする活動をしています。
- 問合せ先 代表 田島由美子
090-3584-9659

このようなボランティア活動を精力的に行っている佐久間さんが、かつて所属していた青年会議所における活動から学んだことのなかに「人生は金儲けだけではなく、重要なことは『人儲け』だ」というものがあります。

佐久間さんには、これからますます素晴らしい「人儲け」活動を地域で行ってほしいと思います。

◆佐久間春生さん プロフィール

人にやさしい街づくりアドバイザー。少年愛護センター指導員・会長(稲沢市)、ボランティア・市民活動連絡会会長(稲沢市社協)、福祉実践教室協力員(稲沢市社協)、教育支援事業検討委員会委員(愛知県)、社団法人稲沢青年会議所副理事長を歴任。



今回は、ボランティアグループ「やさしい街づくりNANAWA ゆうとゆう」の代表を務めている佐久間春生さんを紹介します。

「ゆうとゆう」は、「全ての人がそれぞれの状況を理解し合い、より住みやすい街づくりを進めるために、少しでも力になりたい」との思いから2001年に結成。以後、街づくりに関するプラン作成や手法についてのアドバイス、講演活動、講座の講師や企画運営、さらには、少年愛護センター指導員、地域イベントへの参加など、幅広い活動を展開しています。

人生は金儲けだけではなく、
重要なことは「人儲け」

★ボランティア・インタビュー★



なぜ？



(作 松川)

大会を盛り上げ、支えた大きな存在！
9月26日(日)、稲沢市総合体育館にてスポーツレクリエーション大会が稲沢市障害者福祉団体連合会主催で開催されました。障がい者とその家族や介護者が障害物リレーや三角ベース、パン食い競争などの競技に参加するなか、裏で各競技の運営を補助するボランティアたちの姿がありました。ボランティアは、聴覚障がい者、手話サークルや視覚障がい者ボランティア連絡会の会員、愛知啓成高等学校社会福祉部の部員などが参加。それぞれが競技の進行補助やルール説明、ゼッケン整理・配付、写真撮影などの活動を精力的に行っていました。



連載

収集ボランティア活動

収集ボランティア活動は、**ここがポイント!**
★収集目的 ★収集後の送付先
★収集方法 ★収集後の活用のおされ方を事前に調べてから始めよう!



使用済み切手やカードのゆくえ!!

稲沢市社会福祉協議会

お持ちいただいた使用済み切手や、使用済テレホンカードは「NPO法人誕生日ありがとう運動本部」へ寄贈します。



NPO法人誕生日ありがとう運動本部

住所：神戸市中央区相生町4-3-1
電話：078-360-1257
本部では、ボランティアさんが分類・整理をして、古切手セット・切手しおりなどにします。



福祉の店やバザー、海外旅行のお土産などとして販売します。売上金は、知力ハンディキャップの社会啓発資金として使われます。

募金は素晴らしいボランティア

「みんなで支え合う」という気持ちを大切にしたい (イラスト 松川)



10月1日と2日、赤い羽根共同募金運動の開始にともない市内の駅及びスーパーにて街頭募金が行われました。民生委員や子ども会、日赤奉仕団、婦人会などがボランティアとして募金運動を行い、募金を呼びかける声が辺りに響き渡っていました。

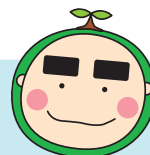
募金運動は、活動をするひとと募金をするひととボランティアです。民間の社会福祉事業に活用される共同募金運動は12月31日まで行われます。詳しくは、稲沢市共同募金委員会(0587-23-6713)まで。



(写真撮影 小島)

募集掲示板

新たな出会いや体験があなたを待っているよ。
問い合わせや申し込みは、ボランティアセンターへ電話してね。



分類	募集元	内 容	日時・回数	場 所	問合先
活動依頼募集	エステティシヤンのボランティア ちゅんぴ〜	マッサージ、メイク、爪のお手入れをメイクティストとカイロプラクティックが二人三脚となって、おじゃまします。	応相談	老健、ケアハウスなど	伊藤しのぶ 090-6476-7788
ボランティア募集	稲沢市民病院ボランティア “あんり”	受付案内、車椅子介助などの外来対応、リハビリ室までの送迎といった院内活動など	月〜金（希望制） 午前8時30分〜 午前11時30分	稲沢市民病院	ムラマツノリヲ 村松功雄 090-8474-3952
	稲沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター	本誌、ボランティア・市民活動だより「あい・あい」の作成を楽しく行っています！	編集会議：3か月に1回程度 取 材：適宜	社会福祉会館 （編集会議会場）	稲沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター 0587-23-6713
	携帯メール研究会	防犯・防災などでは、現場から発信できる携帯メールが注目されています。目的に合わせたメールの種類、使用法を研修会で指導します。	適宜	稲沢市内	エモトカズヲ 榎本和男 0587-36-3271

ボラメール配信 〜ボランティアに関する情報が手軽に分かるよ〜

ボランティア活動に関する情報をメール配信しています。

メール情報配信の登録を希望する場合は件名を「ボラメール」とし、本文に「氏名」、「住所」、「電話番号」を入力のうえ、

vollo-info@inazawa-shakyo.or.jp

までご送信ください。



(ウ)



(イ)



(ア)

補聴器により聴力を補っても10メートルの距離で90デシベルの警告音が聞こえない人がワイドミラーの使用の条件で車を運転する際に、車に表示するマークは、次のどのマークでしょう。

福祉クイズ！

学生ボランティア
山田ちさとが出題！

難易度調整

(△)【易】

まちの魅力発見



写真は、稲沢サンドフェスタ2010に出展された作品の一つ。タイトルは「聖」。思わず見とれてシャッターを押しました。
このような作品は、水と砂を混ぜた後に水だけを一気に抜き取って、砂を硬くして像を形造り、仕上げに牛乳成分を含んだ液体をスプレーで吹きかけてコーティングするとできあがるということです。

(編集委員 小島)

編集委員の声

年の瀬も迫り、今年もまた、新しい出会いができたことに喜びを感じるとともに感謝。仕事や子どもたちの学校、趣味やボランティアなど縁はさまざまだが、人は一生にどの位の出会いがあるのだろうと思いを馳せてみる。最近では、携帯やパソコンで大抵のことに対応できるし、一日誰と会話が無くても生活するには支障がない。便利になった反面、淋しさを感じるのは私だけだろうか。だからこそ、人との出会いを嬉しく思うのかも知れない。

(編集委員 武田)